

平成20年 7月29日

「顔合成ロボット」について

1. 展示の内容

被験者の顔写真を本システムにて撮影し、「20年後にはどんな顔になるのだろうか?」、「自分が政治家になるとしたらどんな顔になるだろうか?」など、予想される顔を画面上に表示します。

2. 展示の意義

香川大学とグローリー株式会社との共同研究

3. 期間

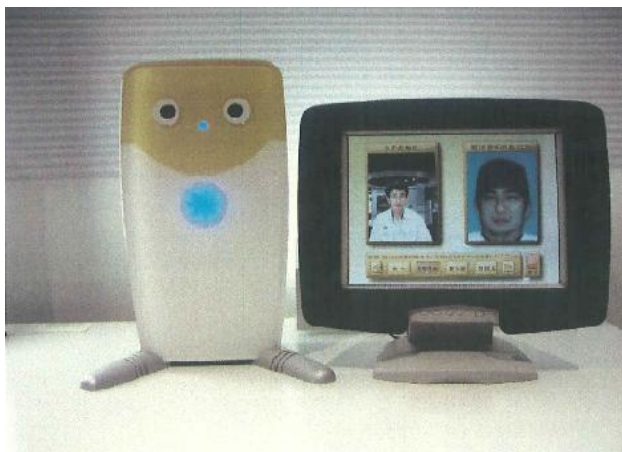
平成20年8月6日(水)～9月9日(火) (8月5日(火)搬入、9月10日(水)搬出)

4. 場所

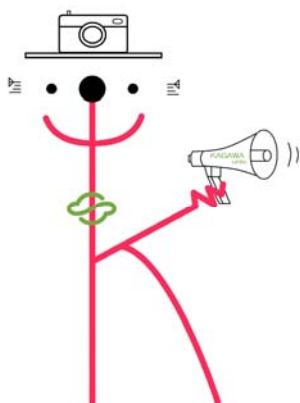
e-とぴあ・かがわ(高松シンボルタワー タワー棟4F)

5. 装置の概要説明

下図左の機器にて顔写真を撮影し、右のタッチパネル型ディスプレイを操作して年代・性別などを入力後、希望する職業や年代などを選択、予想される顔を表示。装置内では被験者の年代や性別などを撮影された顔写真から推定しており、推定された年齢と被験者実年齢との誤差等を解析することを目的とした研究である。



本システムの外観図(右は政治家を選択した例)



➤ 問い合わせ先

香川大学工学部知能機械システム工学科 助教 林 純一郎

TEL087-864-2328

グローリー(株)R&Dセンター研究開発部

亀山 博史

TEL079-292-8445